

一 般 質 問

加藤議員

子どもの医療費無料化 拡充について

問 勝山市は、子どもの医療費助成の対象年齢を、就学前から中学3年まで拡充するとしているが、十分な内容である。

①小学生と中学生には自己負担を導入したが、その理由を伺う。

②外来の自己負担限度額は、小学生は月500円、中学生は月1万円と大きな開きがある。その理由を伺う。

③永平寺町は、自己負担なしで中学3年まで無料化している。勝山市も、ムダを洗い出せば、自己負担なしで中学3年まで無料にできると考える。市長の見解を伺う。

答 ①県の助成制度が小学3年生まで一部自己負担を導入して拡充されたことを受け、市は独自にその助成制度を小学6年生まで拡大し、さらに中学生においても1医療機関月額1万円を超え



その他の質問
・住民税の徴収のあり方について
・小・中学校の再編と新体育館建設について
・福祉政策の充実について

る自己負担について全額助成することとした。

②中学生について、他の自治体で検討されている所得税非課税世帯を対象に助成をすることも検討したが、対象者が一部に限られてしまうことから、高額な医療費を負担する保護者に対し、きめ細かな医療費の助成ができるかと判断するとともに、平成22年4月から中学生についても月額1万3000円の子ども手当が支給されることも考慮し、月額1万円の限度額を設定した。
③今年度改定にあたりこの助成制度をスタート台にさせていただきたいということを考えている。

門議員

鳥獣害対策について

問 ①市は鳥獣害対策として、頭数管理に対しどのように取り組むか伺う。

②捕獲した動物の処理について、どのように取り組むか伺う。

答 ①徹底的な頭数管理として、例えば「予察捕獲」があるが、安全確保が十分できるか危惧されることから、実施には慎重にならざるを得ないと判断している。

②ご提案の捕獲獣の食肉としての加工施設設置については、平成20年に県内で初めて設置した福井市の解体・加工施設があるが、その運営実態等の調査、また近隣市町の猟友会等の関係者の意向確認を行い、並行して県との調整を行っていききたい。

北谷町の地域振興事業について

問 ①北谷地区の振興及び再生について、市の方針を伺う。

②福井県の電気事業売却に伴う地域振興事業として、10億円を配分することである。勝山市にも配分があると思うが、北谷町の地域振興のために活用する

ことはできないか。市の方針を伺う。

答 ①北谷町の再生については、地域の皆様と十分に協議をしながら、まずは政策を立案し、そのために必要な財源は確実に確保し、やるべきことは必ずやるというスタンスで長期的展望に立つて対応していききたい。

②正式に交付を受けたのち、市議会にはおかりしながら、北谷地区の振興、再生を含む地域振興に活用していききたい。

